

令和5年度の重点課題

○運動やスポーツをすることに肯定的な回答をした児童の割合は男女ともに高いが、否定的な回答をした児童が男女共に、10%程度いる。

○令和4年度の課題であったボール投げと上体起こしは上回ることができたが、引き続き50m走が平均値を下回っている。また、令和5年度から長座体前屈が平均値を下回っている。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○年間を通してグラウンドでの体育科授業の始めに5分程度のサーキットトレーニングを取り入れる。
・肋木・雲梯
・登り棒・鉄棒
・ボール投げ
・短距離走等

○体育委員を中心に体育朝会などの体を動かす朝会を行い、楽しく体力をつける活動を行う。

○体の柔軟性を高めるために、学級で取り組むことができる簡単な体操などを取り入れる。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	19.44	19.83	38.22	46.50	59.89	9.27	157.28	21.33	58.44	第5学年	17.14	16.57	39.57	39.43	38.69	10.18	136.64	12.50	53.46

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	19.44	19.83	38.22	46.50	59.89	9.27	157.28	21.33	58.44	第5学年	17.14	16.57	39.57	39.43	38.69	10.18	136.64	12.50	53.46

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	83.33	11.11	5.56	0.00	第5学年	58.33	25.00	16.67	0.00

学校独自の意識調査

体を動かすことが好きですか。(%)		体育の授業は好きですか。(%)	
とても好き	73.5	とても好き	76
好き	20.6	好き	19.8
あまり好きではない	3.4	あまり好きではない	2.5
好きではない	2.5	好きではない	1.7

重点課題

情意面での課題

○運動やスポーツをすることは好きかどうかという質問に対して否定的な回答をした5年女子児童が16.67%であった。(前年比-6.67%)

体力面での課題

○ボール投げの記録が、5年男子、女子ともに県平均値かつ全国平均値より低い。
○5年女子の上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びの記録が、県平均値かつ全国平均値より低い。

令和7年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることが「好き」、または「やや好き」と答える児童の割合を、男女共に90%以上にする。
- 「ボール投げ」を県平均値以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○体力向上のため、年間を通して体育科授業の始めに5分程度のサーキットトレーニングを取り入れる。
運動場：肋木・雲梯、登り棒、鉄棒、ロープロケット、短距離走等
体育館：ロープロケット、立ち幅跳び、反復横跳び

体育の授業以外で行う取組内容

○ボールを投げる機会を増やすため、運動場にロープロケットを設置し、休憩時間にも使用できるようにする。
○持久力の向上のため、運動習慣を身に付けることの大切さに気付かせるため、マラソン朝会を各学年3回程度実施する。(10月)
○体を動かすことの楽しさを味わえるために、体育委員会が企画する体育朝会でアクティブチャイルドプログラムを行う。(11月)
○全児童を対象とした運動・スポーツをすることについての意識調査を行う。(12月)
○縄跳びカード(名人・鉄人・達人・超人)を活用し、児童の意欲を高めながら持久力向上に取り組む。(1月)